

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年10月7日

「水災デジタル調査」と「ドラレコ・ロードマネージャー」が 「2022年度グッドデザイン賞」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）の2つの取組が、2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

- 水災時の保険金支払におけるサービス [AIドローン×チャットボットによる非接触損害調査「水災デジタル調査」]
- 官民連携DXによるAI道路点検サービス [ドラレコ・ロードマネージャー]

1. グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



2. 受賞商品について

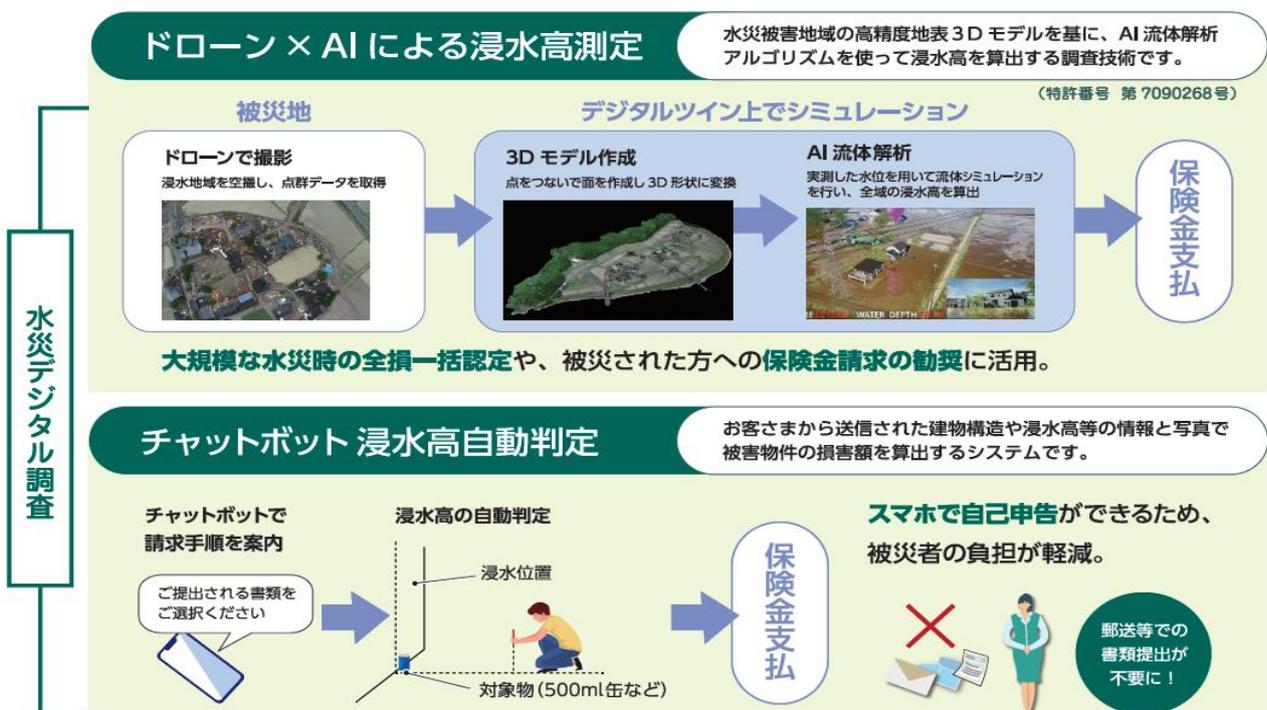
(1) 水災デジタル調査

① サービス概要

ドローン×AIによる浸水高測定と、チャットボットを活用したお客さまからの被害状況等の申告をもとに、従来のような立会調査をせずに保険金支払いをするサービスです。立会調査が困難な、大規模水災時や感染症のまん延時などでも、建物修理会社等や保険会社による現地調査を待つことなく非接触で迅速な保険金支払いを実現することが可能です。



<サービスイメージ図>



②グッドデザイン賞審査委員による評価コメント※¹

ドローンを用いた自動浸水高算定と、チャットボットによる申告システムにより、立会調査なしでスピーディに水災の保険支払いを実現するサービス。ユーザーにとっての利便性と安心性の向上に加えて、今後増えることが予測される大規模水害、コロナ禍による立会の困難など社会的な要請にも応えている点が評価された。

※1：グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ (<https://www.g-mark.org/award/describe/54446?token=hLQLjGju48>)

(2) ドラレコ・ロードマネージャー

①サービス概要

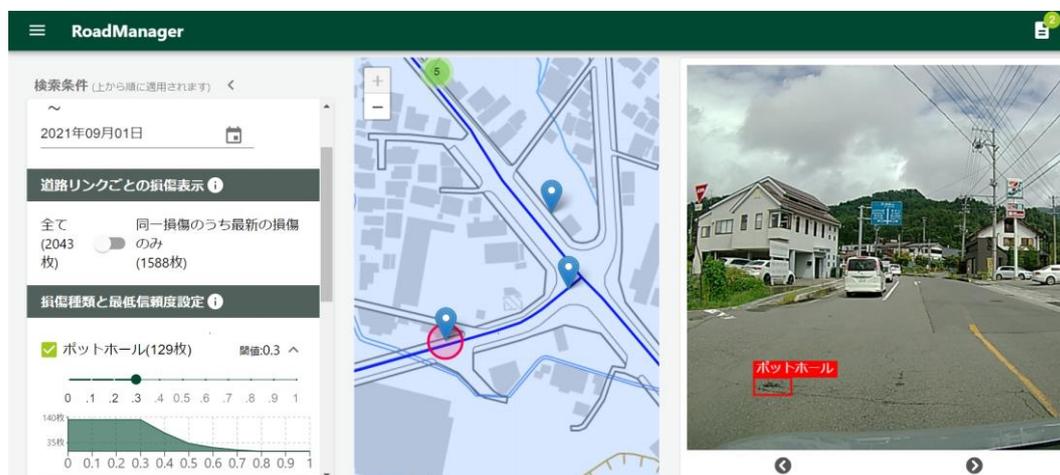
三井住友海上の通信機能付きドライブレコーダーが取得する道路映像データと、東京大学発のスタートアップである株式会社アーバンエックステクノロジーのAI画像分析技術を組み合わせることにより、道路損傷箇所を自動的に検出し、自治体等における道路点検・管理業務を支援するサービスです。

当社のドライブレコーダーを搭載した民間企業の車両が地域を走行するだけで、交通事故につながる恐れのある損傷を発見します。

・サービスHP <https://www.ms-ins.com/business/dr-roadmanager/>



<サービスイメージ図>



②グッドデザイン賞審査委員による評価コメント※²

これまで長い年月をかけて整備されてきた公共インフラとしての道路は、今後の人口減少時代において老朽化に伴うメンテナンスコストが長期的な社会課題となっている。そうした中で、日常的に道路を走るさまざまな企業の業務車両に搭載された自動車保険の付帯サービスとしてのドライブレコーダーのデータからAIの画像解析技術を用いて道路の損傷を検出することは、企業の提供するサービスが社会課題の解決につながる意義ある取り組みとなり得る。AIの画像解析技術の活用方法としても理にかなっており、さまざま自治体での検証で実績も上げている点も評価した。

※2：グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ (<https://www.g-mark.org/award/describe/54445?token=hLQLjGju48>)

以上